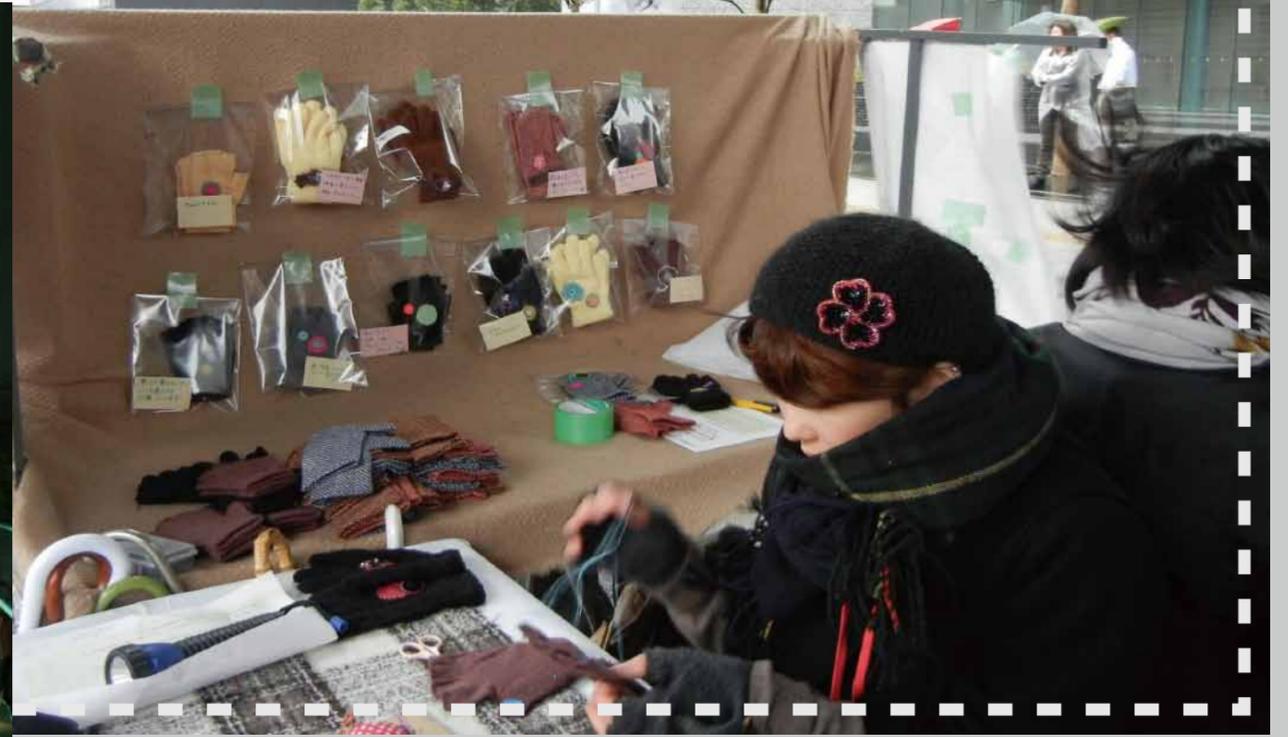


都市の公共的屋外空間の可能性

～公開空地アート・プロジェクトをめぐって～



プロフィール

工藤 安代 (くどう やすよ) Yasuyo Kudo
東京生まれ。南カリフォルニア大学大学院パブリックアート・マネジメント学科を修了後、埼玉大学大学院文化科学研究科博士後期課程を修了。パブリックアートコンサルタントとして、多数の公共・民間アートプロジェクトに携わる。2007年にアート&ソサイエティを設立。以後、社会とパブリックアートの関係についての調査研究活動や、都市・地域でのアート活動を取り上げる専門誌『Public Art Magazine』の定期的発行や他分野からのゲストを招聘し、今日のアート実践を思考する連続レクチャーを企画開催。2010年から地域や社会に関わるアートアーカイブ「P+ARCHIVE」事業を東京文化発信プロジェクト室との共催で開始。著作『パブリックアート政策』（勁草書房）。現在 NPO 法人アート&ソサイエティ研究センター代表理事、国士舘大学、日本女子大非常勤講師。東京在住。

日時：2011年12月10日(土) 17:00~18:30

場所：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー 1076 教室

講師：工藤安代 (NPO 法人アート&ソサイエティ研究センター代表理事)

主催：明治大学大学院理工学研究科建築学専攻 建築計画・設計研究室 (田中研究室)

共催：NPO 法人アート&ソサイエティ研究センター

参加費：無料

問い合わせ先：建築計画・設計研究室 担当：藤田幹人 (080-3272-3825)

■JR 中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線/御茶ノ水駅 下車徒歩 3分

■東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅 下車徒歩 5分

■都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線/神保町駅 下車徒歩 5分



概要

公開空地は再開発など都市空間を高度利用するプロジェクトに際して、周辺住民や歩行者が利用できるような設けられるもので、都市の公共的屋外空間として重要な位置を占めています。しかし、それらの存在はほとんど知られず、あまり活用されているとはいえません。

アート&ソサイエティ研究センターが取り組んでいる公開空地を舞台としたアート・プロジェクトに焦点をあて、まちの創造性を高めるための公開空地の活用可能性について語ります。また、田中研究室で実施している多様なアクティビティを受け止めるための都市空間の設えに関する研究についても発表し、クロストークを行ないます。

Realm of Urban Public Open Space